

イブニングセミナー 1 ES1

2月20日(木) 16:10～17:10

第1会場(松下講堂黎明館)

Santen

アレルギー性 結膜炎診療 最前線

— 様々な課題に応じた治療戦略 —

座 長

“1日1回の投与で24時間有効性を維持できること”、“アレルギー性結膜炎患者さんが容易かつ適切に使用できること”を目指して開発した薬は、眼瞼への塗布によりエピナスチンが眼瞼皮膚を通過して結膜で持続的に作用するアレジオン眼瞼クリームとして発売されました。アレルギー性結膜炎患者は目のかゆみによりQOL低下を招くことがわかっています。抗アレルギー薬でのかゆみの治療は、目がかゆい時に治療するのではなく、発症期間中は用法用量を守って定期的に治療することでかゆみの発生をおさえることが重



庄司 純 先生(庄司眼科/日本大学)

要です。目のかゆみは、目頭やまぶたのふちに表れることが多いことがわかっており、かゆみを感じる部位にも意識をむけて治療していくことが必要ではないでしょうか。アレジオン眼瞼クリームの登場により、アレルギー性結膜炎の治療にどう変化をもたらしたのか、最新の知見を交えながらご解説いただきます。非常に興味深いセミナーになるかと思しますのでぜひご参加いただけますと幸いです。

演 者



見えてきたかゆみの課題と
アレジオン眼瞼クリームの新たな可能性

福田 憲 先生(高知大学)

共催：参天製薬株式会社